

琵琶湖合同稽古会 二〇二六年八月

「型に入った身を眺め、ふと進む」

どうして、人は水に浮いたり沈んだりするのでしょうか？

頑張つて潜ろうとすると、途端に浮いてきてしまう。逆に浮き続けようとしても

沈んできてしまう。「浮く」「沈む」とはどのような身なのか？

抗う事なく水の中を進んで行けるのは古式泳法の特徴ですが、スピードを競う前の古式の型の手捌き、足捌きから考えていければと思います。

第十七回目の合同稽古会を開催します。

今回は浮くと沈むの違いを身体から読み解き、検証・実践する研究稽古です。

そこから水中での身体感覚／動法が身の中のどの様な感覚を用いて、それらが可能であるかを参加者の皆さまと共に考えていきたいと思っています。

野外での実習になりますので、日焼け対策必須です。水中での稽古となりますので露出の少ない水着やラッシュガード等がいいと思います。加えて足袋着用でお願いします。

また実習は水難事故に配慮しつつ二人、三人稽古で行う予定です。

なお近くには休暇村があり、宿泊(ホテル、キャンプ、BBQ)施設、温泉もございます。

参加資格は晴風学舎の会員に限ります。現在未会員の方で参加を希望される場合、事前に入会の手続きをお取りください。

【日時】 令和八年 八月 十六日

集合 十時
稽古 十一時～十四時

【講師】 福田 良平 (赤池稽古場 技術研究員)

服部 陽一 (石神井稽古場 技術研究員)

遠藤 日向 (金沢稽古場 技術研究員)

【会場】 琵琶湖 宮ヶ浜水泳場 (滋賀県近江八幡市沖島町)

アクセス

JR琵琶湖線「近江八幡」下車 バス 35分 「休暇村」下車徒歩すぐ
名神高速道路 彦根ICから 30km

【会費】 五千円